

今昔

雪できわだつ名所の景色



※現在地の住所と現況写真の撮影地は、資料に基づき推定したものです。
※左の絵は原本を一部加工、着色しています。

➤ の絵は、尾張名所図会描かれている江戸時代の澤観音(妙安寺)の様子です。
➤ 「澤観音」のいわれは、高蔵の東北、「澤」の地に観音堂があったことから呼ばれています。その後、幾多の変遷はありましたが、妙安寺の堂宇が整った時に「澤観音」もここに移されましたが、その名称は引き継がれ妙安寺が通称「澤観音」と呼ばれています。

また、澤観音は、熱田四観音の一つと言われ、その評判は高いものでした。

妙安寺は、臨済宗妙心寺派の寺院で1669年(寛文9年)海東郡助光村からこの地に移し江天和尚により開山されました。

ここは熱田台地の西端に当たり堀川の流れに隣接し西南の郊野が見渡せる風光明媚な場所で、かつて名古屋三景の一つに数えられ、風流な客が多く訪れていたようです。

図会には雪の朝の景色で高台にある境内から望む堀川には船が浮かび素晴らしい風景となっています。境内では雪の日の静けさ中、傘を持った一組の参詣の人が描かれ、素晴らしい雰囲気醸し出しています。

鐘のおとも うづむばかりに ふりしきて ゆうべさびしき 雪の古寺
と詠われています。

しかし、今は、境内の周辺には建物が立ち並び、堀川の水辺の様子も変わり、かつての風光明媚な景色は望むべくもありません。



雪の澤観音 (妙安寺)



堀川方面を望む

関連資料 ※()内はまちづくりライブラリーの請求記号です。
「尾張名所図会前編四」岡田啓/著 愛知県郷土資料刊行会(Sc-A)
「佐屋路 歴史散歩」日下英之/著 (Sc-C)

「史跡あつた」熱田研究会よもぎ会/編 (Sc-A)
「熱田区誌」熱田区制五十周年記念誌編集部会/編 (2B-21-87)